



羽田っ子

「かしこく やさしく たくましく たびする羽田っ子」

奥州市立羽田小学校
令和7年度 校報
第13号(8月22日号)
編集 越田

2学期スタート！～101色+αの“始”まり～

8月20日（水）汗をかきながらも、子どもたちは各々が夏休みに取り組んだ作品や自由研究を抱えながら、元気に登校しました。2学期始業式を迎えるわけですが、開始前に改めて本校児童の素晴らしい姿を目の当たりにしました。

窓を開けていたとはいっても、気温が高くなりつつあった体育館で、入場を終えた学年は、姿勢を正し、無言で他学年の入場を待っていました。その姿に、私も清々しい気持ちになれ、襟を正し、始業式に臨むことができました。

【“始”① 始業式 式辞概要】

始業式の“始”。この「始まり」ですが、2種類の「始まり」があるのではないかでしょうか。一つは全く新しいことを始めることです。

もう一つは、すでに知っていたり見ていたりしていたことでも、改めてそのよさに気づき、同じものごとであっても、違った見方・考え方で取り組むことです。そのことを実感する出来事があったので紹介します。

家で作業をしていた時のことです。クーラーのない部屋でしたので、スポットクーラーを使ってみました。すると（約半日で）バケツ3杯分（約30L）もの水が取れたのには、驚きました。これを床にまいたらどうなるかと考えると…すごいことです。けれども空気中に大量の水分が含まれていることは、学校でも習いましたし、知識としては知っていたのです。けれども、実際にバケツにたまつた水を見て「本当の意味では分かってはいなかった」ことに気づきました。知っていたつもりのことにも、実は本当の意味では分かっていないくて、新たな発見が生まれることもあるのだと思感した出来事でした。

2学期みなさんが、今までと違う新しいことを始める人もいれば、同じような取組でも前と違う見方でもう一つの“始”まりをする人もいると思います。

今日は2学期“始”業式。今学期、何を“始”めるのか。どんなことが“始”まるのか、みんなの、そんな姿を期待しています。



児童を代表して6年1組佐藤優馬さんが、作文を発表

各学級では様々な形の（2学期の）“始”まりがありました。

【“始”② 授業】



“始”まいの舞台裏

～全てを支える枝があるから 花は咲ける～

8月17日（日）に、羽田の各地区長さんを中心とする地域の方々が、学校近辺の整備作業を行ってくださいました。改めて羽田小学校は地域の方全員で作り上げている学校であることを実感いたします。本当にありがとうございました。

